

## 卒業論文・修士論文・博士論文題目一覧

2014年3月

### 卒業論文

2013年

- |       |   |
|-------|---|
| 岩尾 愛子 | 大分県におけるカボス加工品の生産                            |
| 遠藤 裕輔 | 携帯電話産業の特性と産業立地<br>—アップルの事例分析を中心として—         |
| 片岡 万葉 | 兵庫県尼崎市における産業集積の変化と地域産業政策                    |
| 佐藤 真紅 | 就農人口構造変化の地域比較                               |
| 田中 宏長 | 首都圏における焼肉店の立地展開とチェーン参入による再編                 |
| 富岡 友貴 | 第3セクターにおける鉄道運営の可能性と限界<br>—平成筑豊鉄道を事例に—       |
| 中島 悠策 | 外資系企業の立地と外国人居住地の変化についての一考察<br>—東京都区部を事例として— |

2014年

- |       |  |
|-------|--|
| 石井 雄大 | 地熱発電開発における地域の合意形成<br>—北海道の事例分析を中心として—            |
| 何 ろく  | 地方都市における地域公共交通の問題点と再生<br>—山口市を事例として—             |
| 倉田 拓己 | 大都市における公共スポーツ施設の立地とメカニズム<br>—東京23区における野球場を事例として— |
| 山島 有喜 | 東京都港区における屋上緑化の進展過程                               |
| 虫明英太郎 | アニメーション産業における背景製作と地域イメージ                         |
| 森 一貴  | 山形市中心市街地における小規模開発型まちづくり                          |
| 渡邊 慧子 | 神奈川県茅ヶ崎市と寒川町における工場の機能変化                          |

## 修士論文

2013 年

- 鎌倉 夏来 化学企業における研究開発機能の立地履歴と新空間分業  
澤岡 知広 東京大都市圏郊外における公団分譲団地建替え事業  
久井 情在 県出先機関の再編に見る都道府県・市町村間関係の変化  
—山梨県を事例として—  
守屋 涉 自動車流通システムの再編に伴う自動車販売店の競争と立地変化

2014 年

- 秋元 裕介 公共的消費空間としてのフリーマーケットの空間マネジメントに関する地理学的研究  
—東京都を事例として—  
三宅 さき パブリックアートの展開と需要  
—神奈川県旧藤野町の事例—  
山田 彩未 水需要増加に対応した水道事業広域化  
—高度経済成長期以降の埼玉県・神奈川県を事例として—  
山本 啓典 北陸地方のフィッシャーマンズワーフにおける観光物産事業

## 博士論文

2013 年

- 植村 円香 農村の高齢化に伴う特産品産地の変容に関する地理学的研究  
岡部 遊志 フランスにおける政府間関係と地域の競争力に関する地理学的研究  
清水希容子 ものづくり産業のイノベーションと地域の持続的発展に関する地理学的研究  
張 厚殷 韓国の地域産業政策における地方自治体の役割に関する研究  
—大邱広域市を事例として—  
中川恵理子 生鮮野菜流通における卸売市場間価格差の規定要因

2014 年

- 藤原 久徳 ベンチャーキャピタルのグローバル立地と集積に関する経済地理学的研究  
古川 智史 日本の広告産業におけるグローバル・ローカル環境への適応と創造性に関する地理学的研究

## あとがき

東京大学人文地理学研究 第 21 号をお届けする。本誌は、前号から、査読付き論文を掲載する学術誌へと移行しており、本号はその第 2 弾となる。

前号のあとがきでお知らせしたように、2011 年度から、教養学部後期課程の改組が始まり、これまでの広域科学科人文地理分科に代わって、学際科学科地理・空間コースがスタートした。2012 年秋には同コースとしての最初の学生が内定し、授業がはじまっている。改組と同時に学生定員の運用も見直されたため、所属学部生の人数は増加傾向にある。最初の内定生は 4 名であったが、その後の学年では毎年 10 人程度が内定しており、かつての上限定員 8 名の時代に比べて、学生数がかなり増え、教室も賑やかになった。それに伴って、学生室が混み合うのが悩ましいところである。

前号が発行されて以降も、人文地理学教室のスタッフに異動はなく、小職、松原 宏教授、永田淳嗣准教授、梶田 真准教授および與倉 豊助教の計 5 名である。なお、地理・空間コースの創設とともに、建築学系のスタッフとして加藤道夫教授と横山ゆりか准教授が加わり、学部生の教育・指導にあたっている。人文地理学教室はあいかわらず 2 号館 2 階に居を構え、教室事務・渋谷桂子氏と図書管理・川村素生氏を加えて運営されている。その他、院生諸氏には、ティーチングアシスタント、IT 機器管理、図書選定などの業務を分担してもらっている。

さて、あたらしい地理・空間コースも今年度、最初の卒業生を送り出すことになる。この節目にあたって、現スタッフ一同は、駒場の地で東京大学における地理学研究・教育をますます発展させるべく、思いをあらたにしている。今後とも引き続きご指導・ご鞭撻を賜るようお願い申し上げます。

2014 年 晩秋

荒井 良雄